

令和元年度
(令和2年度事業)
高知市共同募金委員会
助成事業完了報告書

高知県共同募金会高知市共同募金委員会

◇目的

誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会を実現するため、地域を良くしていこうと活動する福祉団体やボランティア団体等を支援する。

◇助成の種類

(1)高知市広域福祉活動支援事業

- 対象事業：広域的で公益性の高い活動及び事業に対し、助成を行う
- 対象団体：社会福祉団体、特定非営利法人、ボランティア団体等
- 助成限度額：総事業費の90%、最大20万円、但し同一事業に対する継続助成は最大3年

(2)小地域福祉活動支援事業

- 対象事業：小地域により良い具体的な変化が期待される活動及び事業に対し、助成を行う
- 対象団体：町内会、自治会や地域コミュニティ組織等
- 助成限度額：総事業費の90%、最大10万円、但し同一事業に対する継続助成は最大3年

(3)地域福祉推進事業

- 対象事業：高知市社会福祉協議会が行う地域福祉の活動及び事業に対し、助成を行う
- 対象団体：高知市社会福祉協議会
- 助成限度額：なし、但し単年事業で継続助成は原則5年

◇助成決定額

- (1)高知市広域福祉活動支援事業：3団体、312,000円
- (2)小地域福祉活動支援事業：15団体、811,000円（内、2団体が辞退）
- (3)地域福祉推進事業：1件、250,000円

◇事業募集から助成金交付までの流れ

- [受付期間] 令和元年12月16日～令和2年1月31日
- [審査] 令和2年2月18日（審査委員会）
- [決定] 令和2年3月26日（運営委員会）
- [事業実施期間] 令和2年4月1日～令和3年3月31日

～目次～

□高知市広域福祉活動支援事業（3団体）

脳卒中交流会 I N 高知 P1

あそびのひろばどんどこどん P2

おんちゃんクラブ P3

□小地域福祉活動支援事業（13団体）

東福井南町内会敬老会(旭地区) P4

旭北町町内会(旭地区) P5

百歳体操元気モリモリ会(鴨田地区) P6

ふなつきばの子ども食堂(長浜地区) P7

子育てサロン・あさひグループ(旭地区) P8

ひだまりフロア(鴨田地区) P9

シルバーサロン笑話会(鴨田地区) P10

うしおえこども食堂(潮江地区) P11

小高坂朝ごはん実行委員会(小高坂地区) P12

男の料理ヤロウ会(朝倉地区) P13

緑ヶ丘団地町内会(一宮地区) P14

コミュニティカフェ御畳瀬みなや(御畳瀬地区) P15

いっぽいっぽつながり企画(初月地区) P16

□地域福祉推進事業（1団体）

高知市社会福祉協議会 P17

◇審査委員からのコメント P18

**1. 団体名
(事業名)** **脳卒中交流会IN高知**

2. 総事業費 125,000円 (助成金 112,000円 その他財源 13,000円)

3. 主な使途 冊子500冊, 講師謝金

4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

高知市内にある脳卒中当事者グループ12～13団体のグループ集をひとつの冊子にするのがひとつの目標でした。共同募金の赤い羽根共同募金助成事業のおかげで500冊印刷完成しました。これは今後、社会福祉のために役立つ事と思います。又、当脳卒中交流会IN高知としても会話の内容も深まり盛り上がっています。言語聴覚士の先人、管美佐野先生の講演等もあり、ますます成長していく事と思います。コロナ禍で、いずみの病院での会は、しばらくは中止となり他の講演会を予定していましたが、残念ながら実行できませんでした。塩田町の高知市保健福祉センターを利用するようになりましたが、課題は交通手段です。脳卒中の後遺症で車に乗れない人もおり、少人数でも交流会を続けていけたら良いと思っています。(管先生にはこれからもサポートしてもらおう事になっております。)



5. ありがとうメッセージ

我々のグループの活動を強力に推進していただきました。背中を押され前進した感覚です。念願の「自主グループ活動支援の当事者グループ集」が完成し、活動も活発になり、本当にありがとうございました。コロナ禍で会の中止の日々が続いたことが残念でした。

6. 職員所感

セルフヘルプグループや当事者組織では、共通の体験をもつ方々がその体験に関連する感情や情報、考え方を同等な関係のなかで交換することができ、当事者やその家族も含め、様々な方とつながりを派生し、希望の持てる場や生きがいの持てる場、ピアカウンセリング効果も大いに期待できる場でもあります。

冊子の作成は、入院中から不安を覚えている方、退院後に一人で悩んでいる方々に情報を届けることができ、また、講演会にて専門的な知識を得て当事者同士で情報交換することで自身の居場所やつながりづくりに大いに貢献されていると感じます。

1. 団体名 (事業名) **あそびのひろばどんどこどん
(子育てサロンあそびのひろばどんどこどん)**
2. 総事業費 152,000円 (助成金 106,000円 その他財源 46,000円)
3. 主な用途 フロアマット2組(8枚)
4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

今回の助成金でフロアマットを2組(8枚)購入しました。以前は机と椅子を置いていたスペースにも机と椅子をのけてマットを敷くことができ、あそびのスペースを広く使用できるようになりました。

しかし、予定よりもマットの購入枚数が少なくなった為、以前の古いマットも使用しています。その為、段差ができています。新型コロナウイルスの感染予防も考えると、少しでも広く、安全に使用できればと思います。今後、2組(8枚)を追加購入できればと思っています。



5. ありがとうメッセージ

ソフトタッチのやわらかいマットを購入することができて、歩きはじめた子どもたちがつまづいて転んでもケガをするリスクが少なくなり、安心して見守ることができるようになりました。ありがとうございます。

6. 職員所感

物品を購入することで、参加した赤ちゃんや保護者への配慮とお世話役さんの安心を確保することができたと思います。助成金交付額の範囲内で、工夫して活動されており、子育ての悩みみや楽しさを共有できるお母さん同士の仲間づくりと子どもの遊び場づくりに貢献されていると感じます。

1. 団体名
(事業名) おんちゃんクラブ
(ボッチャ倶楽部)

2. 総事業費 222,000円 (助成金 94,000円 その他財源 128,000円)

3. 主な用途 ボッチャ用具一式, 備品

4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

ボッチャ倶楽部あさひを立ち上げて、男の居場所として、また高齢者から子どもまで参加できるスポーツとして地域に普及してきました。現在、実施場所も3か所となり、障害者センター(延216名)、イオンおらんく広場(延185名)、朝倉市民会館(延100名)が参加しました。(※2020年12月末時点)コロナの関係で、お休みになった期間がありましたが、多くの方に参加をいただきました。

今後の課題としては、コロナの終息とボッチャ倶楽部主催の大会の開催です。男性の閉じこもりや新たな居場所づくりも課題ですが、チラシやロコミで宣伝して増やしていきたいと思います。会員と会場が増えたことで道具代が欲しいので次年度も申請したいです。



5. ありがとうメッセージ

今回、助成いただきまして自分のボール、クラブのボールが出来ましたので、機動的に動けて、参加人員が大幅に増えて活動が活発にできています。本当にありがたいです。

6. 職員所感

コロナ感染症流行により活動自粛を余儀なくされる活動団体が多い中、参加人数が増えたとの報告がありました。ボッチャ競技への関心の高まりと、おんちゃんクラブが居場所としての機能していることが相まっての成果ではないかと思われまます。団体メンバーの交流だけでなく、ボッチャを通じた、ユニバーサルスポーツの普及啓発に努められていることも活動の広がりが見える成果だと感じます。

1. 団体名
(事業名)

東福井南町内会敬老会
(敬老記念品配布事業)

《旭地区》

2. 総事業費 15,706円 (助成金 14,000円 その他財源 1,706円)

3. 主な使途 手作りフォトフレーム材料

4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

年度初めから計画していた敬老会は残念ながら中止となりましたが、せっかくだだけた助成金を有効に使わせていただこうと手作りフォトフレームを作成することにしました。コロナ感染対策で多人数での作業は難しい為、町内有志が日を分けて、また各自自宅で作業を行いました。

フォトフレーム内には町内の小学生に書いてもらった『長生きしてね』のメッセージも入れました。幅広い世代の方に参加していただき、新しいつながりもでき良かったと思います。

比較的世帯数の少ない町内会で、お互いの顔が見えやすいという利点はありますが、町内での親睦会は何もやっていなかったの、せめて年一回の敬老会は続けていきたいと思っています。



5. ありがとうメッセージ

思いがけないコロナウィルスの流行で、当初の敬老会の計画とは大きく内容を変更しましたが助成金のおかげで、ただ中止にするのではなく、できることを前向きに考えることができました。新しいつながりもできましたし、たくさんの笑顔をいただきました。本当にありがとうございました。

6. 職員所感

敬老記念品の配布は、地域毎に様々な財源(行政・民間の助成金、町内会費等)を活用して実施していますが、今回の助成は、この東福井南町という比較的世帯数の少ない小地域により良い具体的な変化が期待される活動として助成が決定しました。コロナ禍で敬老会は中止となりましたが、その中でもできることを模索し、つながりを絶やさないために活動されたことが成果と捉えます。

1. 団体名 (事業名) 旭北町町内会 (旭北町まつり備品購入) 《旭地区》
2. 総事業費 122,939円 (助成金 70,000円 その他財源 52,939円)
3. 主な用途 長机6脚, テント5張り
4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

今回、旭北町町内会では「町内住民の交流促進」を目的としたイベント開催に向け、共同募金の助成を受け、長机6脚とテント5張りを購入しました。

しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、各イベントが中止となり購入した備品を使用するには到りませんでした。

今後、新型コロナウイルスが終息した際には、今回の助成により購入した備品を使用して、町内住民の交流が促進されるようなイベントを開催できるように努めてまいりたいと思います。



5. ありがとうメッセージ

発足して月日が短い当町内会では、課題の1つとして「町内住民の交流促進」があります。町内での交流促進を目的としたイベントを開催するにあたり、長机とテントを助成により購入することができました。しかし、新型コロナウイルスの影響によりイベント開催について何度も検討しましたが、今年度は実施できませんでした。皆様のご支援を無駄にしないよう、新型コロナウイルスが終息した際には、町内住民の交流促進の一助になるよう活用させていただきます。皆様、本当にありがとうございました。

6. 職員所感

発足して数年の町内会にて、「地域住民の交流促進」を目的としたイベントを開催することで、イベントを通して、隣近所のつながりや町内会や自治会などの地縁組織に参加することにより生まれるつながり等、地域に多くのつながりを作り出す事が期待されるとして助成が決定しました。

コロナ感染症流行によりイベントの開催は自粛となりましたが、感染症が終息した際には購入物品を活用し、イベントを開催することで地域に多くのつながりを作り出していきたいです。

1. 団体名 (事業名) **百歳体操元気モリモリ会** **《鴨田地区》**
(百歳体操元気モリモリ会鴨部下公民館火曜日教室)
2. 総事業費 35,000円 (助成金 28,000円 その他財源 7,000円)
3. 主な用途 椅子4脚
4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

百歳体操は椅子を使っての体操ですが、椅子が足りずに鴨田支援センターなどで借りており、又、安定した安全な椅子でなければなりません。その為、助成金を交付していただき、丈夫で安定した椅子を購入することができて喜んでます。

高齢者の方が楽しく体操し、地域の人達と交わり、地域活性化につながればと思っています。

コロナの影響で令和2年3月～9月まで鴨部下公民館での体操はお休みしましたが、10月から始めています。健康を考えながら、コロナ対策もできるだけ考えながら、今後も元気に頑張っていきたいと思っています。



5. ありがとうメッセージ

百歳体操を待ちに待って下さった方々のために、丈夫で安定した安全な椅子を、4脚ではありますが、嬉しい限りです。

これからもコロナがなくなると参加人数も増えると思います。本当にありがとうございました。

6. 職員所感

参加者の増加に伴い、不足していた物品を今回の助成で購入することで、参加者全員が安全に楽しく体操を行うことができたことが成果だと捉えます。

助成交付額の範囲内で工夫して活動され、高齢者の健康増進や維持、生きがいに貢献されていると感じます。

1. 団体名 (事業名) **ふなつきばの子ども食堂** **《長浜地区》**
(子ども食堂)
2. 総事業費 168,892円 (助成金 70,000円 その他財源 98,892円)
3. 主な用途 絵本45冊, 本棚1本
4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)
- 成果 …… 本棚に並べた途端, 次の回に参加した子どもも大人も目ざとく新しい本を見つけて, 楽しそうにみてくれていました。本の力はすごいです。
- 今後の課題 …… 今回は絵本を中心に買わせて頂きましたが, 小学高学年から中高生向けの図鑑, 博物誌, 文学書, 世界の出版物等々を備えたいと考えております。出来れば貸し出しをしてみたいです。



この本棚(20,000 円)が、赤い羽根共同募金で購入させて頂いたものです。



この一列 3 段45冊が、赤い羽根共同募金の助成金(50,000 円)で購入させて頂いた分です。



5. ありがとうメッセージ

本は子ども達の心をストレートに, 世界や時代や宇宙や人の世や, 想像の世界やあらゆるものとなつないでくれる架け橋です。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

6. 職員所感

今回の助成は「幅広い年齢層の子ども達が垣根なく楽しく集える場所を存在させたい」という目的に沿った活動を深める為の物品購入であり, 子ども達が楽しめる居場所となる事が期待される事として助成が決定しました。

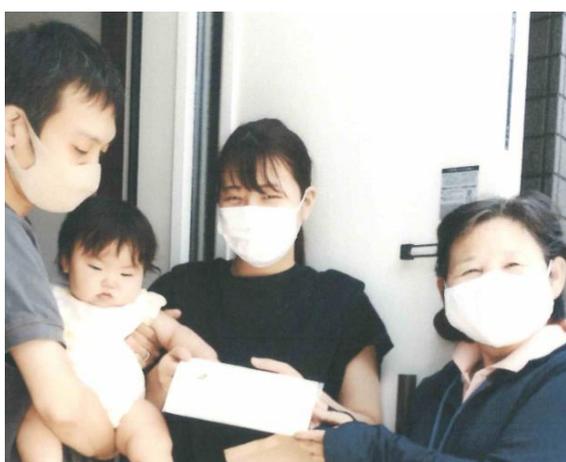
取材時には親子が昼食を食べるとともに自由に遊び, くつろいでおり, 心休める居場所となっていることが感じられました。

1. 団体名 (事業名) **子育てサロン・あさひグループ** **《旭地区》**
 (子育てサロン・赤ちゃん訪問事業)
2. 総事業費 58,350円 (助成金 52,000円 その他財源 6,350円)
3. 主な使途 離乳食スプーン, 昆布茶
4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

高知市母子保健課の「赤ちゃん誕生おめでとう訪問」が新型コロナウイルス感染防止対策により、自粛状態のため、実施できたのは4月～6月で2件のみですが、これから一年をかけて、毎月徐々に訪問件数が増えてくると思います。

ささやかな祝い品ですが、離乳食用のスプーンは「日本製で安心して使える」と大変喜ばれました。赤ちゃんが生まれて最初に口にする食品は良質のものをおすすめしていますので、簡単に作ることができるお出汁に昆布茶を添えることにしました。

申請した他の事業は予算オーバーとなるため中止となりました。



5. ありがとうメッセージ

子育てサロン・あさひグループの赤ちゃん訪問事業は個人の自主活動の為、資金に限界があり、一部の対象者に対する訪問となりますが、民生委員がお届けする事で地域と繋がる安心感が出来ていると実感しています。この事業をきっかけに子育てサロンへの利用者が増えて、子育て世代の交流が深まっています。

6. 職員所感

赤ちゃん訪問事業を通して出産当初から母親と関わり、信頼関係を築くことで子育てサロンへの参加へと繋がり、子どもや子育て世代が地域とつながる機会をつくり、子育てしやすい助け合いのある地域づくりに大いに貢献されていると感じます。

1. 団体名 (事業名) **ひだまりフロア (百歳体操会場整備)** **《鴨田地区》**
2. 総事業費 75,600円 (助成金 68,000円 その他財源 7,600円)
3. 主な用途 机, 椅子, カーペット, 扇風機, 電気ストーブ
4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

2020年に新会場に移るにあたって、助成金で必要物品を購入することができ、体操を継続することができました。参加者は新しい木目の匂いにうっとりし、「安心感がある」と喜びでいっぱいでした。早々に4人の新しい仲間が増え、更に参加を希望されている人が2~3人待っています。

テレビは社協の方の配慮で借り、ビデオデッキは百歳体操の会計より購入し、DVD・ダンベル・ベルトは市役所の備品を借りています。たくさんの支援のもと活動できています。

残念なことに新型コロナウイルス感染症で自粛を強いられ、外出困難となった為、電話で仲間の生活状況を確認すると「早く集まり体操したい、ひとりではできない、会話ができないと呆けてくる、歩いて会場に行くことがリハビリになる」等の声があり、平均年齢78.7歳の仲間の健康維持や増進とコロナウイルスの早期終息を祈っています。



5. ありがとうメッセージ

必要物品が助成金で購入できたことは最大の喜びです。個人の負担が最小で済んだ事に感謝しています。本当にありがとうございました。本年度は是非、全員でいきいき体操して、認知症予防等に励み、心身共に生き生きとした楽しい生活が送れる様に地域の方々にも声掛けしていきます。

6. 職員所感

物品を購入することで、個人宅へ会場移転後も高齢者の健康維持や増進の場を確保することができ、新たな参加者が増えたことが成果だと捉えます。

コロナ感染症流行により、活動が制限される中でも仲間とのつながりを絶やさないよう、前向きに活動されており、高齢者の生きがいと健康づくりに貢献されていると感じます。

1. 団体名 (事業名) シルバーサロン笑話会 (シルバーサロン笑話会の月例会)

《鴨田地区》

2. 総事業費 39,260円 (助成金 35,000円 その他財源 4,260円)

3. 主な使途 おでかけサロン, 講師謝金

4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

実施日: 2020年9月22日 (火)

実施場所: 神田交流施設 「あい」

実施内容: 講座と実習「シニア世代の頭皮と髪・お肌の手入れ」

講師: 高知ヤクルト販売株式会社 化粧品課 三浦泉 氏

成果、課題等

コロナ対策でのマスク生活で、気になるお肌のリフレッシュを期待し
昨年のサロンで好評だった講師を再度依頼し、祝日の例会実施でした。
新しい化粧品に触れる機会が少ない世代になっても、美容に対する
気持ちは変わらず、サンプルのサービスも歓迎、気分もリフレッシュ
でした。(参加者17名)



実施日: 2020年10月27日 (火)

実施場所: 五台山牧野植物園

実施内容: 牧野植物園見学と公園内の散策

交通機関: ジャンボタクシー2台利用 (定員18名参加)

成果、課題等

巣籠り状態の続く折、タクシーでのお出かけプランを計画した。桂浜
の坂本龍馬記念館見学を予定していたが、安心感から五台山に変更し
た。天気にも恵まれ、洋ラン、寒蘭の特別展示や、秋の花を見ながら
ゆっくりした散策に満足の声、助成金に感謝でした。
課題としては、早くも次回のお出かけプランに期待の声・・・経費の
負担が問題ですが希望者のみでも実施したいものです。



実施日: 2020年11月24日 (火)

実施場所: 神田交流施設「あい」

実施内容: 歴史講座「坂本龍馬と吉野地域」

講師: 龍馬の生まれたまち記念館学芸員 森本琢磨 氏

成果、課題等

11月は龍馬月間でもあり吉野地域に縁の深い講話を依頼した。簡潔
な資料も作成していただき、歴史の裏話も織り交ぜた学芸員ならではの
講演1時間は久しぶりに勉強した気分でした。和霊神社、板垣退助、
岩崎弥太郎の居住地、平井加尾の関係など生活エリアの中にあり、
身近な講座に吉野地域の散策希望の声もありました。(参加者22人)



5. ありがとうメッセージ

サロン発足から3年目。マンネリ化を心配していた時、助成金を頂いたことで専門的な講座と楽しい外出プランを実施できてステップアップ！サロン継続への声も多くありました。

高齢者が高齢者のボランティアという現状に今回のような助成金は嬉しいことです。ありがとうございました。

6. 職員所感

サロンの案内チラシ等でしっかりと「赤い羽根共同募金」の啓発を努められており、事業実施後には「赤い羽根共同募金について」の講座を開催させていただき、参加者の方々に共同募金の理解をしていただけたと思います。今後も共同募金の助成を受けての活動の情報発信が期待されます。

1. 団体名
(事業名)

うしおえこども食堂

《潮江地区》

2. 総事業費

85,800円

(助成金 62,000円

その他財源 23,800円)

3. 主な用途

テーブル10台

4. 実施内容

(※完了報告書より抜粋)

色が暗く、傷みのあった古い会議用テーブルを、明るい色の会議用テーブルに買い替えることができました。新しいテーブルによって清潔感が増し、食堂の雰囲気よくなったと感じています。

今後はより一層、地域の人たち(子ども～高齢者)が喜んで利用してくれる場所となるように励みます。



5. ありがとうメッセージ

コロナ禍により、まだ通常のこども食堂を開催できていませんが、代わりに行っているお弁当配布に訪れた方から「部屋が明るくなった！来るのが楽しみ！」と言われました。

6. 職員所感

コロナ感染症流行により子ども食堂の開催はできず、お弁当配布の活動となりましたが、今回の助成により訪れた方から“食堂の雰囲気が明るくなり、清潔感が増したことで、利用しやすい食堂”という印象を持って貰えたことが成果だと捉えます。子どもに限らず、地域の方々が楽しく集える居場所づくりに貢献されていると感じます。

1. 団体名 (事業名) **小高坂朝ごはん実行委員会** **《小高坂地区》**
2. 総事業費 119,400円 (助成金 82,000円 その他財源 37,400円)
3. 主な用途 冷蔵庫1台
4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

コロナ感染症流行の影響で朝ごはん活動については、残念ながら自粛となりましたが、対象を長期休暇中の児童クラブの児童へと制限し、カレー弁当を提供しました。

8月と3月の2回のみ開催となりましたが、コロナ禍でも活動することができて良かったです。今後もコロナ感染症の状況をみながら、長期休暇には活動をしていく予定です。



5. ありがとうメッセージ

令和元年より活動を資金0円で始めました。地域の方のご協力や助言を頂き、今回の助成を申し込みました。子どもたちに喜んでもらえて、スタッフもやりがいがあります。

今回の助成のおかげで冷蔵庫を購入できました。ありがとうございました。

6. 職員所感

物品を購入することで、食材を安全に保管し、安心した食事を提供し、子どもたちに喜んで貰い、また、それを受けて、やりがいを感じていただけたことが成果だと捉えます。

コロナ感染症の流行により、朝ごはん活動は自粛となりましたが、できることを工夫して活動されており、コロナ禍での居場所づくりに貢献されていると感じます。

1. 団体名
(事業名)

男の料理ヤロウ会
(男の料理ヤロウ会)

《朝倉地区》

2. 総事業費

41,500円

(助成金 35,000円

その他財源 6,500円)

3. 主な用途

オーブンレンジ1台

4. 実施内容

(※完了報告書より抜粋)

オーブンレンジ外側の表示で茶わん蒸しや焼き物、グラタン等いろいろあるのを見て、いつもは次回のメニューの希望を聞いてもなかなか出てこなかったのが、この助成金のおかげでいろいろやってみたい料理の幅が広がったようで、イキイキした姿を見るのは楽しみです。



5. ありがとうメッセージ

調理器具が揃い、大勢(15名)でも鍋も炊飯も一度で出来上がり、何よりオーブンレンジで作れるメニューがたくさんあり、希望するメニューが次々と要望として出てきて意欲的になりました。全員、感謝しております。

6. 職員所感

物品を購入することで参加者の意欲や向上心を引き出し、面白さや魅力を共有し合う仲間を広げることができました。孤立しがちな高齢男性の交流の場、活躍の場を作ることで地域社会とのつながりを確保し、高齢男性がいきいきと暮らせる地域づくりに大いに貢献されていると感じます。

1. 団体名
(事業名)

緑ヶ丘団地町内会

《一宮地区》

2. 総事業費

119,337円

(助成金 70,000円

その他財源

49,337円)

3. 主な用途

プロジェクター、スクリーン、その他周辺機器

4. 実施内容

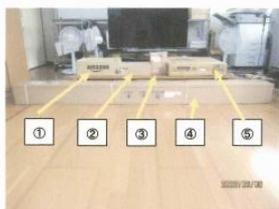
(※完了報告書より抜粋)

申請時には予想できなかったコロナ感染拡大防止のためのイベント自粛により、新たに実施する計画であった「陽だまりサロン」が開催不能となりました。

助成事業を何とかできないかと状況を見ていましたが、秋になり三密を避けながら屋外でのイベント開催なら可能ではないかと購入物品を使って「青空シアター」を開催しました。その後は寒くなり青空開催はできず、屋内での開催ができないか年度末まで様子を見ていましたが、それもかなわず、イベント開催は1回にとどまりました。

今後の課題はコロナ禍での取り組みの工夫であるが、当面は青空開催での条件整備(屋外用物品の調達等)が必要であると考えます。

購入物品写真



購入物品梱包状態



①プロジェクター&付属部品



②キャリングケース



③無線ランユニット



④大型スクリーン



⑤プロジェクター

青空シアター

2020年度は、コロナの影響で年度末まで状況を見守ったが、屋内でのイベントや会食などの自粛が続き、計画していた「陽だまりサロン」の開催ができなかった。しかし、11月8日、かろうじて屋外でのイベントとして青空シアターを実施し、マジックを放映した。コロナのため参加者は少なかったが、オープンで作ったクッキーを高齢者や子どもたちに提供した。



11月8日、密集を避けるため公民館前空地の屋外でのイベントを実施した。



スクリーンでは、録画撮りをしてマジックを放映した。



参加者に簡単な料理を提供するため、公民館内では団地クッキングガールズが料理作り。オープンを使ったクッキーも作られた。



シアター会場では、公民館内で作られたクッキーなどが配られた。

5. ありがとうメッセージ

コロナの影響で、計画していた高齢者の集いの場である「陽だまりサロン」(室内)が開催不能となりました。代わりにスクリーンなど助成金で購入した物品を使って青空シアターを開催しましたが、高齢者だけではなく、子どもたちにも喜んでもらえることができ、コロナのなかでも団地にひと時の賑わいが戻りました。

6. 職員所感

コロナ感染症流行により、活動が制限される中でもできることを模索し、購入物品を屋外で活用することで高齢者だけではなく、子どもたちも一緒に楽しんで交流できたことが成果と捉えます。今後もコロナ禍でもつながりを絶やさない、工夫をした取り組みが期待されます。

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------------------------------|
| 1. 団体名
(事業名) | コミュニティカフェ御畳瀬みなや | 《御畳瀬地区》 |
| 2. 総事業費 | 126,473円 | (助成金 100,000円 その他財源 26,473円) |
| 3. 主な用途 | 台所シンクの交換, 水道配管設備 | |
| 4. 実施内容 | (※完了報告書より抜粋) | |

今回の助成金で台所シンク交換と水道配管設備の修繕を行いました。古民家を利用しているためまだ修繕が必要な箇所があり、電気の配線修理や土間の雨漏りの修繕が今後の課題です。



5. ありがとうメッセージ

古民家を利用したカフェなので、あちこち直さなければいけないところ、助成金のおかげで大きな修繕をすることができました。ありがとうございました。

6. 職員所感

今回の助成は、かつての活気あふれる町を取り戻すべく、住民が気軽に集える憩いの場を復活させるための新たな活動であり、著しい人口減少が進む小地域に、より具体的な変化が期待される活動として助成が決定しました。

古い建物内の大きな修繕を行うことで、カフェとして使用できる環境が整備され、取材時には近隣の方々が集い、賑わいを見せており、住民が気軽に通えるコミュニティカフェとして、地域の活性化に貢献されていると感じました。

1. 団体名
(事業名)

いっぽいっぽつながり企画

《初月地区》

2. 総事業費

79,200円

(助成金 42,000円

その他財源 37,200円)

3. 主な用途

コミュニケーションメモ帳, ハルネット参加費※, その他消耗品

4. 実施内容

(※完了報告書より抜粋)

※(株)おめめどうが運営する発達障害に関する悩みを相談できる
メーリングリスト

自閉症・発達障害のある方の暮らしを支えるための視覚支援講座を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、講座やシェア会の開催は制限されましたが、参加人数を制限したり個別対応するなどして、計43名の方にご参加いただきました。開催時期は感染者の少ない時期をねらい、オンライン対応などの工夫もしました。

参加者には、発達障害児を子育て中の保護者や支援者が集まりましたが、今回新しい参加者として、発達障害をもつ小学生の親子の参加があったのはうれしいことでした。今困っていることを本人に尋ね、それを解決するためにどうする方法があるのかを直接伝えることができ、親子にとっても喜ばれました。「暮らしやすさ」の支援を考えることが目的ですので、本人に直接伝えることができたのは大きな経験となりました。

この企画は令和3年も継続して実施予定ですが子どもも参加できるような内容でさらにブラッシュアップしていきたいと考えています。

新型コロナウイルスも拡大は、日常生活に大きな変化をもたらしました。開催自体危ぶまれたこの一年で感じたのは、何気ない雑談の時間にこそ、本当の課題が隠されていることに気づかされたということでした。非日常の中ではどうしても余裕がなくなり、ゆったりとしたおしゃべりの時間がとれなくなります。子育てや支援の中で感じている困りや不安について、気持ちを吐き出せる場所となれるような工夫が今、求められているなど感じています。

令和3年度も、必要に応じて柔軟に対応しながら困っている方々の相談場所、居場所となるようにまた、視覚支援の必要性や有効性を伝えていきたいと思います。



5. ありがとうメッセージ

この度は、講座開催のためにご支援ありがとうございました。自閉症・発達障害児者の暮らしを支える視覚支援講座『子どものMIKATA』に多くの方のご参加をいただきました。不安が募るこの頃だからこそ、より「暮らしを支える」ことの重要性を感じております。家族や支援者、当事者の支えとなるような講座をこれからも続けていきたいと思います。

6. 職員所感

コロナ感染症流行により、活動が制限される中でもオンライン対応などの工夫を凝らし開催することで新しい親子の参加があったことや課題を解決する方法を本人に直接伝えることができたことが成果と捉えます。コロナ禍だからこそ、家族や支援者、当事者が抱えている困りごとや不安を吐き出せる相談場所、居場所づくりに大いに貢献されていると感じます。

1. 団体名
(事業名) **高知市社会福祉協議会
(赤い羽根共同募金推進計画策定事業)**

2. 総事業費 100,000円 (助成金 100,000円 その他財源 0円)

3. 主な用途 講師謝金, 研修

4. 実施内容 (※完了報告書より抜粋)

地域福祉を推進する社協職員として、寄付文化の醸成につなげていく意識を持ってもらうことを目的に滋賀県の高島市社会福祉協議会の橋詰氏をお招きし研修会を実施しました。

研修内容は、社協職員を対象(参加者54名)とし、「共同募金の魅力について」と題し、高島市共同募金委員会が実施している「たかしま見守り募金」、「募金百貨店プロジェクト」について、また共同募金担当職員と共同募金推進計画を策定するにあたっての過程や方法等をディスカッション形式で話し合いを実施しました。



5. ありがとうメッセージ

この助成金を活用させていただき、共同募金活動の先進地から講師をお招きすることができ、地域福祉を推進する社協職員に対し研修を実施できたこと、また共同募金推進計画を策定していくうえでの検討材料を得ることができました。今後、計画策定に向けて地域住民と一緒に動いていきたいと思えます。ありがとうございました。

6. 職員所感

共同募金は多様な課題解決に取り組む活動を支えるための財源としての活用を目的としています。が例年踏襲で配分を行う地区がほとんどであり、まずは地区委員会や地区委員会以外の外部の有識者もメンバーに加えて、プロジェクトチームを立ち上げて、計画策定について検討していく必要があると感じます。

◇審査委員からのコメント

○ありがとうメッセージを読むと、どの団体からも「心からありがとう」という気持ちが現れていて、今後も是非、この助成事業を継続していただきたいと感じました。このありがとうメッセージを読むと、地域共生社会の方向性が見えて、この助成事業を実施して良かったと感じます。(長尾委員)

○それぞれの団体がコロナ禍においても、助成に対して真摯に実行されているのがとてもよく伝わりました。例えば、御豊瀬地区のコミュニティカフェ御豊瀬みなやさんは限られた資金で人脈などを活かしながら工夫されているなど感じました。あるいは、緑ヶ丘団地町内会さんは、コロナの影響により購入した物品を当初の目的とは違う使い方をしていますが、コロナの中でも工夫して実施され、交流の輪が広がり、世代間交流に繋がったということは非常に嬉しいことだと思います。(玉里委員)

○ふなつきばの子ども食堂さんは、子ども食堂で気軽に本が読めるというのは非常に魅力的で良いことだと感じました。シルバーサロン笑話会さんは、コロナ禍でできることが制限される中でも、新しい取り組みを考えて、挑戦して取り組んでいることが素晴らしいと思いました。そして、男の料理ヤロウ会さんは、食品を温めるだけになりがちなレンジをしっかりと活用して、レンジに記載されているメニューの料理を制覇していくという発想が面白いと感じました。(田所委員)

○報告書を通して、脳卒中交流会 IN 高知さん等の今までにないような活動内容を知ることができて、非常に驚きました。シルバーサロン笑話会さんは、福祉委員さんがリーダーとなって立ち上げ、運営されていることが特徴的ですごいなと感じました。(福原委員)

○各団体さんも助成金額のなかで、とても工夫されていると思いました。人脈や地域との繋がりのなかで安価で工夫して事業に取り組むことも大切だと感じましたが、ひとつひとつの団体にもう少し多くの助成を行い、大きな取り組みができるような仕組みを考えていければいいと思います。(藤崎委員)

※このコメントは、令和3年7月8日(木)に開催された令和3年度高知県共同募金委員会高知市共同募金委員会にていただいた意見をまとめています。

令和3年度高知県共同募金委員会高知市共同募金委員会の様子

